

## 進め方系 原則4 既存資源を上手に再生・活用します

計画的な都市づくりの積み重ねの中で蓄積された各種の都市基盤や公共施設、良好に保たれている自然環境や街並みなどの資源を効果的に活用します。

### 背景・必要性

- 基礎的都市基盤のおおむねの充足とそれらの更新期の到来
- 財政的制約と環境負荷低減の社会的要請の中で、市民ニーズへの対応と都市の魅力の向上が必要

### 原則の内容

#### 4-1 魅力ある資源の効果的な活用

- 公園・緑地や河川、歩行者・自転車道など、多様なオープンスペースが相互に連携・接続されることにより、各要素が利用しやすくなり、また、都市空間の魅力が高まること
- 地域の個性を演出する街路や建物、樹木などが、街並みの中で効果的に生かされていること
- 市街地内の遊休地などが、地域や都市全体の魅力を高める観点で効果的に活用されること

#### 4-2 活用方法の工夫による機能の確保・向上

- 道路空間や公共施設等の利用の時間的・空間的な有効活用により、十分な機能の発揮がなされること
- 道路等をイベント空間として利用するなど、公共空間の多面的活用が図られること

#### 4-3 長期的な維持・活用

- 公共施設等が、適切に維持管理されるとともに、必要に応じて改修、多用途への転用などが検討され、長期的に活用されること
- 新たな公共施設等の整備において、次世代に引き継ぎ得る質の高さが確保されること

#### 4-4 既存資源の活用を促す都市構造への誘導

- 地下鉄をはじめとする既存の公共交通機関が利用しやすい都市開発が誘導されること
- 都市基盤施設が充実し、多様な都市機能が集積した既成市街地での居住が支えられること